



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき かつとし 克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674  
2009年9月6日 No.674

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

「品川」の  
「選挙」の  
「現場」を  
「徹底」に  
「取材」し  
「お伝え」します



# 衆院選 自公が大敗

民主  
大幅増

## 共産党 比例で公明党を上まわる

### 小選挙区(東京第3区)の結果

	政党	得票	得票率	品川	大田	島部	
当	松原 仁	民主	163,791	52.22%	101,113	56,293	6,385
	石原宏高	自民	121,669	38.79%	76,110	36,778	8,811
	沢田英次	共産	28,221	9.00%	19,117	7,989	1,115
	合計		313,681	100.00%	196,340	101,060	16,311

8月30日投票の総選挙。品川でも自民・公明政治に厳しい審判がくだりました。民主が大増票となり、日本共産党は小選挙区、比例代表とも前回票を上回り、比例票は公明党を追い抜きました。

### 小選挙区(東京第3区)品川区の結果

	得票	得票率	前回票	増減
松原 仁	101,113	51.50%	76,012	+25,101
石原宏高	76,110	38.76%	94,611	-18,501
沢田英次	19,117	9.74%	15,458	+3,659
合計	196,340	100.00%	186,081	+10,259

※沢田英次前回票は後藤均氏の得票

### 比例代表(東京ブロック)品川区の結果

	今回 衆院選		2005年 衆院選		2007年 参院選		2009年 都議選	
	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
共産党	19,827	10.09%	16,393	8.76%	16,476	10.25%	21,742	13.67%
民主党	78,193	39.78%	54,013	28.86%	64,241	39.98%	70,294	44.19%
自民党	52,713	26.82%	81,110	43.33%	44,330	27.59%	40,004	25.15%
公明党	18,979	9.66%	21,135	11.29%	18,590	11.57%	25,322	15.92%
社民党	7,767	3.95%	7,638	4.08%	6,249	3.89%	—	—
国民新党	2,546	1.30%	—	—	3,119	1.94%	—	—
新党日本	2,554	1.30%	6,884	3.68%	7,695	4.79%	—	—
みんなの党	12,863	6.54%	—	—	—	—	—	—
幸福実現党	1,121	0.57%	—	—	—	—	1,725	1.08%
他	—	—	—	—	4,534	%	—	—
合計	196,563	100.00%	187,173	100.00%	160,700	100.00%	159,087	100.00%

# 衆院選 各党の当選者数

	当選者数	小選挙区	比例区	選挙前比
日本共産党	9	0	9	±0
民主党	308	221	87	+87
自民党	119	64	55	-181
公明党	21	0	21	-10
社民党	7	3	4	±0
みんなの党	5	2	3	+1
国民新党	3	3	0	-1
新党日本	1	1	0	+1
新党大地	1	—	1	+1
諸派	0	0	0	-1
無所属	6	6	0	±0
合計	480	300	180	

「選挙前」には解散後の党派異動を含みます。

●自民党 708万票減。比例55、小選挙区64の計119議席。公示前より181議席減らし、結党以来最低の議席数となる壊滅的な敗北。得票数も比例代表で前回の2589万票から、708万票減らし1881万票。

●民主党 193議席増。単独過半数(241議席)を大幅に上回る308議席を獲得(比例87、小選挙区221)し大勝。公示前比で193議席増。得票数は比例で前回の2104万票から880万票増やし、2984万票に。

●公明党 前回は10減の21。小選挙区は全敗。結党以来最低の議席数で歴史的敗北。東京12区の太田昭宏代表や大阪16区の北側一雄幹事長がそろって落選。

投票率は66.03%(前回65.53%)。男65.86%(同64.39%)、女66.18%(同66.63%)。

共産党は  
建設的野党

自公政治に代わる  
新しい日本の政治を探求

今回の選挙で、自民・公明政権が歴史的な大敗。退場することになりました。自民党は119議席へと公示前の勢力を3分の1に激減、公明党も31議席から21議席へ大きく後退しました。

国民の暮らしや平和を壊してきた自民・公明が政権から退場することになった今回の結果は、日本の政治にとって大きな前向き的一步です。同時に、国民は「自公政権ノ」のきびしい審判をくだしましたが、民主党の政策・路線を積極的に選択した結果とはいえないことは各種の世論調査などで明らかです。終焉した自公政治に代わる、新しい日本の政治は何か…これから日本国民の模索と探求はつづくのではないのでしょうか。

日本共産党は、選挙公約を

現するためにみなさんと力を合わせて奮闘します。また、民主党政権に対して、良いことには協力、悪いことにはきっぱり反対、問題点はただすという「建設的野党」として現実政治を前に動かすために奮闘します。同時に、「財界中心」「軍事同盟中心」という旧来の政治をただし、「国民が主人公」の新しい日本へ政治実現へ力をつくします。

無料  
弁護士  
が対応

9月25日(金) Pm 6:30

法律相談は  
みやさき克俊事務所

生活相談は随時受付